

全 学 年

| 資 格 名                        | 概 要   | 試験日・申込期間  | 奨励度               | 難易度                  | 大学での支援内容  | 問い合わせ先  | 備 考  |
|------------------------------|---|---|-------------------|----------------------|---|---|--|
|                              |   |   |                   |                      |   |   |  |
| 在学中に受験可能な資格試験                |   |   |                   |                      |   |   |  |
| 基本情報技術者                      | 情報を扱うシステムエンジニアになるために必要な知識に関する内容の試験である。出題範囲としては、情報処理分野における基本的な内容だけでなく、プログラミング言語によるソフトウェア開発および関連アルゴリズムなどの実務的な問題も含まれている。このため、この資格取得が情報システム関連企業への就職を目指す際には登竜門となる。<br>国家試験であり、全国合格率は25%程度  | 試験日：<br>CBT方式での試験<br>【上期】2021年5月1日(土)<br>～2021年6月27日(日)<br>(予定)<br>【下期】2021年10月頃<br>～2022年1月頃の期間<br>(予定)<br>申込期間：<br>未定<br>随時、問い合わせ先HPを確認のこと。 | A                 | **                   | 試験内容と密接に関連した講義および演習を多数開講している。<br>「情報処理概論」、「ハードウエア概論」、「情報数学」、「プログラミング実習Ⅰ、Ⅱ」、「データベース論Ⅰ、Ⅱ」、「ネットワークシステム論」など                 | (独)情報処理推進機構<br><a href="https://www.jitec.ipa.go.jp">https://www.jitec.ipa.go.jp</a><br>〈学内〉木森                            | 受験資格制限なし<br>受験料 5,700円<br>※詳細は、左記のURLを参照のこと  |
| 応用情報技術者                      | ソフトウェア開発過程において必要な知識をどの程度理解しているかを問われる試験である。従来のソフトウェア開発技術者とほぼ同様な出題範囲であるが、近年の情報処理機器および技術の高度化に伴い、情報系の会社では入社後に、この資格取得を強く推奨される場合も多い。<br>国家試験であり、全国合格率は20%程度   | 試験日：<br>【春】4月第3日曜日<br>【秋】10月第3日曜日<br>申込期間：<br>【春】1月中旬～2月中旬<br>【秋】7月中旬～8月中旬  | B                 | ***                  | 試験内容と密接に関連した講義および演習を多数開講している。<br>「データ構造とアルゴリズム」、「ソフトウェア開発Ⅰ、Ⅱ」、「情報セキュリティ」、「プログラム言語と処理」、「システム工学」など                        |   |  |
| ITパスポート試験                    | 職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を問う国家試験である。ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジ系のいずれの知識においても基礎的な用語・概念などの理解を問うことを主眼としている。ビジネス社会で情報処理技術を活用したい人には推奨の資格である。<br>試験は120分間の多肢選択式（100問）である。<br>合格率：45%程度  | 試験日：<br>CBT方式で、随時受付・実施  | A                 | **                   | 関連科目授業において解説等実施。<br>「コンピュータリテラシー」、「情報処理概論」、「経営情報学概論」、「ビジネスシミュレーション」、「環境・情報倫理」、「基礎統計学」、「マーケティング論Ⅰ、Ⅱ」、「企業論」、「経営情報処理Ⅰ、Ⅱ」など |   | 受験資格制限なし<br>受験料 5,700円<br>パソコンを用いて試験を行う<br>CBT(Computer Based Testing) 方式で受験する<br>受験場所は左記URL参照 |
| 日本商工会議所簿記検定<br>(1級・2級・3級)    | 簿記及び会計に関する検定試験の代表的存在である。<br>1級：税理士、公認会計士などの国家資格への登竜門。<br>企業会計に関する法規を理解し、経営分析ができる。<br>2級：中小企業経営者、会計主任クラス。<br>商業簿記及び工業簿記が理解できる。<br>3級：小企業経営者、一般記帳係クラス。<br>基本的な商業簿記が理解できる。<br>合格基準点は各級とも満点の70%以上である。<br>合格率は1級10%程度、2級30%程度、3級40%程度。   | 試験日：<br>【春】6月上旬<br>【秋】11月中旬<br>【冬】2月下旬<br>申込期間：<br>試験日の約2ヶ月前から  | 1級B<br>2級A<br>3級A | 1級***<br>2級**<br>3級* | 試験内容と密接に関連した授業を多数開講。<br>「簿記原理Ⅰ・Ⅱ」、「上級簿記Ⅰ・Ⅱ」<br>「原価計算」、「管理会計論」<br>「財務会計論」など。   | 各地の商工会議所または日本商工会議所<br>商工会議所の検定試験（簿記）<br>〈学内〉田中  | 受験資格制限なし<br>受験料 1級 7,850円<br>2級 4,720円<br>3級 2,850円  |
| 税理士試験                        | この試験は、税理士となるのに必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定することを目的として行われる。<br>試験は、会計学に属する科目（簿記論及び財務諸表論）の2科目と税法に属する科目（所得税法、法人税法、相続税法、消費税法又は酒税法、国税徴収法、住民税又は事業税、固定資産税）のうち受験者の選択する3科目（所得税法又は法人税法のいずれか1科目は必ず選択しなければならない）について行われる。<br>なお、税理士試験は科目合格制をとっており、受験者は一度に5科目を受験する必要はなく、1科目ずつ受験してもよいことになっている。合格基準点は各科目とも満点の60%である。           | 申込期間：5月中旬～下旬<br>試験日：8月中旬<br>合格発表日：12月中旬   | B                 | ***                  | 試験内容と密接に関連した授業を開講。<br>「上級簿記Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計論」   | 国税庁<br>〒100-8978 東京都千代田区霞が関3-1-1<br>TEL: 03-3581-4161<br>〈学内〉田中   | 受験料 1科目： 4,000円<br>2科目： 5,500円<br>3科目： 7,000円<br>4科目： 8,500円<br>5科目： 10,000円                   |
| MOS試験                        | この試験はマイクロソフトOfficeの利用能力を証明する世界的な資格認定試験。WordとExcelおよびPowerPoint等を対象とする実技試験。通常レベルとExpert（上級）レベルがある。<br>合格率の詳細は公表されていない。   | 試験日：毎月2回程度<br>全国一斉試験<br>申込期間：試験日前<br>約45日～30日<br>上記の他随時試験も行われている。詳細は教員まで。   | A                 | **                   | 試験内容と密接に関連した授業として<br>「コンピュータリテラシー」を開講。  | 受験案内<br>マイクロソフトオフィススペシャリスト事務局<br><a href="https://mos.odyssey-com.co.jp/">https://mos.odyssey-com.co.jp/</a><br>〈学内〉近藤・菊池 | 受験資格制限なし<br>受験料<br>詳細は左記のURLを参照のこと   |
| ビジネス能力検定<br>ジョブパス<br>(2級・3級) | 学生が就職（就活）前におさえておきたいビジネス知識や社会人のマナーから、人材育成の課題である問題発見力・提案力・発信力まで、就職間近の学生から新入社員、入社数年の中堅社員まで幅広い層を対象とした文部科学省後援の検定試験である。3級は、これから社会人になる人や新入社員を対象に、仕事に対する基本姿勢や社会常識、マナーや円滑な人間関係を保つためのビジネスの基礎的能力を評価するため、就職対策にも効果的である。2級は、会社の中堅幹部を目指す人を対象に、情報収集・文書能力・コミュニケーション能力を評価する。合格基準点は3級・2級とも70%以上で、全国合格率は3級が80%程度、2級が70%程度である。 | 試験日：<br>前期：7月第1日曜日<br>後期：12月第1日曜日<br>出願期間：<br>4月上旬～5月中旬<br>9月上旬～10月中旬   | A                 | 2級**<br>3級*          | 試験内容と密接に関連した授業を開講<br>「キャリアゼミⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「コンピュータリテラシー」、「テクニカルライティング」、「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」  | (一財)職業教育・キャリア教育財団<br><a href="https://bken.sgec.or.jp">https://bken.sgec.or.jp</a><br>〈学内〉近藤                              | 受験資格制限なし<br>受験料 2級 4,200円<br>3級 3,000円<br>CBT (Computer Based Testing) 方式で受験可                  |

奨励度…Aが一番高い。 難易度…\* 1、2年に受験を奨める比較的取得し易い資格

\*\* 3、4年に受験を奨める就職に有利な資格

\*\*\* 難易度が高く優秀な学生に奨める資格

全 学 年

| 資 格 名                 | 概 要  | 試験日・申込期間   | 奨励度 | 難易度                         | 大学での支援内容                                     | 問い合わせ先   | 備 考  |
|-----------------------|--|--|-----|-----------------------------|--|--|--|
| <b>在学中に受験可能な資格試験</b>  |  |  |     |                             |  |  |  |
| 外務員資格試験<br>(一般・一種・二種) | 協会員（証券会社や銀行等の金融商品取引業者等のうち日本証券業協会の協会員となっている会社）に所属し、顧客に対して金融商品等を勧誘する等の金融商品取引業務を行う者を外務員と呼ぶ。証券会社等に所属し、有価証券の募集や売買の勧誘などの営業活動を行ったり、顧客を訪問し有価証券（株券、債券、証券投資信託の受益証券など）の売買などを勧説するためには外務員資格が必要となる為、金融機関等で業務に従事するためには必要不可欠な資格である。二種外務員試験では、金融商品の取引に関連した法令・諸規則や商品業務知識、証券や金融の基礎知識などが出題される。一種外務員試験では、二種外務員試験内容に加えて一般的になじみが薄い金融商品（オプション・先物・信用取引）が出題範囲となる。試験時間は一種が160分、二種が120分で、合格基準点は各種とも70%程度以上である。合格率は一種が40%程度、二種が60%程度である。  | 試験日及び出題期間<br>申込日の翌日を1日目として、5日目（土日、祝日、年末年始休業を除く）の日から1ヶ月間に行なわれる試験に出願可能   | A   | 一種**<br>二種*                 | 試験内容と密接に関連した授業を開講<br>「ファイナンスⅠ、Ⅱ」、「リスクマネジメント」 | (社)日本証券業協会<br><a href="https://www.jsda.or.jp">https://www.jsda.or.jp</a><br>〈学内〉近藤                            | 受験資格制限なし<br>受験料<br>一種及び二種：8,704円   |
| F P 技能検定<br>(2級・3級)   | ファイナンシャル・プランナー（FP）は、顧客である個人から、収支・負債・家族構成・資産状況などのソース提供を受け、それを基に住居・教育・老後など将来のライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行う職業や職種、及びその職に就く者を指す。FP技能検定では、金融・不動産・住宅ローン・税制・保険・年金・相続など、人の一生にまつわる広範囲な知識を身につける事が出来る為、様々な人のライフプラン相談が可能となるだけでなく、一般企業内で仕事の幅を広げたり、自身の家計管理や資産運用に役立てる事も可能となる。FP技能検定では、ライフプランニングと資金計画、リスク管理、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業承継など幅広い知識を身に付けることが可能となる。合格基準点は各級とも60%程度であり、合格率は2級が60%程度、3級が80%程度である。  | 試験日：5月第4日曜日<br>9月第2日曜日<br>1月第4日曜日<br>出願期間：<br>5月試験：<br>3月中旬～4月上旬<br>9月試験：<br>7月中旬～8月上旬<br>1月試験：<br>前年11月中旬～12月上旬 | A   | 2級**<br>3級*                 | 試験内容と密接に関連した授業を開講<br>「ファイナンスⅠ、Ⅱ」、「リスクマネジメント」 | NPO法人日本FP協会<br><a href="https://www.jafp.or.jp">https://www.jafp.or.jp</a><br>〈学内〉近藤                           | 受験資格<br>3級：制限なし<br>2級：3級FP技能検定の合格者<br>受験料（学科・実技）<br>3級：6,000円<br>2級：8,700円 |
| 統計検定<br>(1級・2級・3級・4級) | 21世紀の高度情報化社会では、確かな統計データと分析に基づいて持続可能社会の発展に寄与する科学者や技術者、テレビや新聞・雑誌・インターネット等での身の回りの表やグラフを読み取り、それらを用いて論理的な議論が出来る社会人が求められている。統計検定は統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験であり、データに基づいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力は、仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く認められている。各級では以下の内容に対する理解度を評価する。<br>4級：統計表やグラフ、確率、調査・実験の基礎と活用の知識に関する学習理解度<br>3級：4級の内容に加え、標本調査、データの散らばりの指標及びグラフ表現、2変数の相関に関する学習理解度<br>2級：現状について問題を発見し、その解決のために収集したデータを元に仮説の構築と検証を行える能力<br>1級：課題の定式化と仮説の設定に基づき、適切なデータ収集法を計画・立案し、データの吟味を行ったうえで統計的推論を行い、結果を正しく解釈し伝達する能力 | 試験日：11月第4日曜日<br>出願期間：<br>9月上旬～10月上旬  | A   | 1級***<br>2級**<br>3級*<br>4級* | 試験内容と密接に関連した授業を開講<br>「基礎統計学」、「統計学演習」         | (一財)統計質保証推進協会統計検定センター<br><a href="https://www.toukei-kentei.jp">https://www.toukei-kentei.jp</a><br>〈学内〉畠中     | 受験資格制限なし<br>受験料<br>4級：3,000円<br>3級：4,000円<br>2級：5,000円<br>1級：10,000円       |
| 貿易実務検定                | 貿易の自由化はいまや世界的な潮流となり、わが国でも今後ますます多くの貿易実務のエキスパートが求められる状況となっています。このような中で、現在、自分の実務能力・知識がどの程度のレベルにあるのか、客観的に確認できる手立てが必要となっています。貿易実務検定は、貿易関連・通関関連業務に携わる人やその業務に関心がある人に対して、独りよがりの実力ではなく、自他ともに認める貿易実務のエキスパートとしての能力・知識を客観的に測るための検定です。  | 試験日：<br>A級：3月7月12月<br>B級：3月7月12月<br>C級：3月5月7月10月12月<br>出願期間：<br>各試験日の2ヶ月前より開始                                    | A   | A級***<br>B級**<br>C級**       | 試験内容と密接に関連した授業を開講<br>「ロジスティクスⅠ、Ⅱ」、「英語関連科目」   | 日本貿易実務検定協会<br><a href="https://www.boujitsu.com/">https://www.boujitsu.com/</a><br>〈学内〉近藤                      | 受験資格制限なし<br>A級：13,130円<br>B級：7,150円<br>C級：5,980円                           |
| 社会保険労務士               | 社会保険労務士制度は、社会保険労務士法（昭和43年法律第89号）に基づく制度です。社会保険労務士となるためには、社会保険労務士試験の合格等により社会保険労務士となる資格を有する者が、全国社会保険労務士連合会の備える社会保険労務士名簿に登録を受けることが必要であり、登録と同時に、都道府県社会保険労務士会の会員となります。<br>受験資格は、大学において学士の学位を得るのは必要な一般教養科目の学習を終わった者、大学において62単位以上を修得した者です。<br>試験は1問1点の配当、選択式で40点、択一式で70点の合計110点満点です。各科目とも最低必要な得点が定められていますので、まんべんなく勉強する必要があります。<br>試験科目は労働基準法、労働安全衛生法、雇用保険法、健康保険法、国民年金法、労働保険料徴収法などです。<br>ここ数年の合格率は7.0%台で推移していますが、地道に勉強すれば十分に合格のチャンスはあります。   | 試験日：8月第4日曜日<br>受験申込期間：<br>4月中旬～5月下旬  | A   | **                          | 試験内容と関連した授業を開講<br>「労務管理論」、「企業論」              | 全国社会保険労務士会連合会試験センター<br><a href="https://www.sharosi-siken.or.jp">https://www.sharosi-siken.or.jp</a><br>〈学内〉近藤 | 受験資格制度あり<br>受験手数料9,000円  |

奨励度…Aが一番高い。 難易度…\* 1、2年に受験を奨める比較的取得し易い資格

＊＊ 3、4年次に受験を奨める就職に有利な資格

＊＊＊ 難易度が高く優秀な学生に奨める資格